

再開発事業完了地区の概要

川崎駅北口地区第3西街区(Kawasaki-eki-kitaguchi-chiku Dai3-nishi-gaiku) 川崎市
建物等名称 川崎ダイス 竣工年月：平成15年8月

[事業概要]

所在地：川崎市川崎区駅前本町8番、9番、30番の一部
地区面積：0.8ha
事業名：川崎駅北口地区第3西街区第一種市街地再開発事業
施行者：川崎駅北口地区第3西街区市街地再開発組合
都市と地区の性格：住宅都市 / 駅前地区商業集積地



[事業の特徴]

課題と特徴

当該地区はJR川崎駅の駅前広場に面し、また京浜急行川崎駅の駅前に位置する市の中心商業地街区であるが、施設の老朽化が激しく、街区の8割を占める大型小売店舗は建て替えを前提に既に閉店しており、市の都心地区整備の一環として、また駅前中心商業地区の活性化のために早急な再開発整備が望まれていた。

本事業は、129万都市川崎の中心市街地であり、その表玄関の顔とも言うべきJR川崎駅、京浜急行川崎駅前という立地条件を活かし、駅前中心商業地の北側の核としての商業拠点開発を目指して施行された。

[事業の経緯]

連続立体交差事業の都市計画決定(当該地地下部に軌道の建設が予定された)を契機としてまちづくりの機運が高まり、老朽化した大型商業施設や木造の小規模店舗などの建て替えを目的に平成4年に勉強会がスタート。平成9年に市街地再開発事業の都市計画決定がなされた。

経過年譜

平成9年10月：都市計画決定
平成10年3月：事業計画認可
平成11年2月：権利変換計画認可

[施設計画等の概要]

- ・地下1～2階はアミューズメント施設で、地下街アゼリアと接続している。
- ・1階の通り沿いに地権者の区分店舗が配置され、2～5階は専門大店を中心とした物販ゾーンとなっている。
- ・6階は飲食店街、7～10階はシネマコンプレックス及び一部飲食店が配置されている。

[施設建築物等の概要]

敷地面積：4,475㎡
建築面積：3,970㎡
延床面積：38,615㎡
建物階数等：地下2階、地上1階
主要用途：商業施設

権利変換：全員同意型(110条)
総事業費：10,487百万円